



トステム株式会社

アクトステージ 台形納まり 取付け説明書

- この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。
- 本取付け説明書は台形納まりの一例として記載しております。
- 台形部以外の取付けについては、本体の取付け説明書を参照してください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠ 警 告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 注 意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 警 告

※製品落下および転落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

【躯体への固定】

- ・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
- ・タッピンねじは柱、間柱、胴差しなどの構造材に必ず止めてください。

【部材の固定】

- ・必ず指定の組立てねじ・ボルトで固定してください。

⚠ 注 意

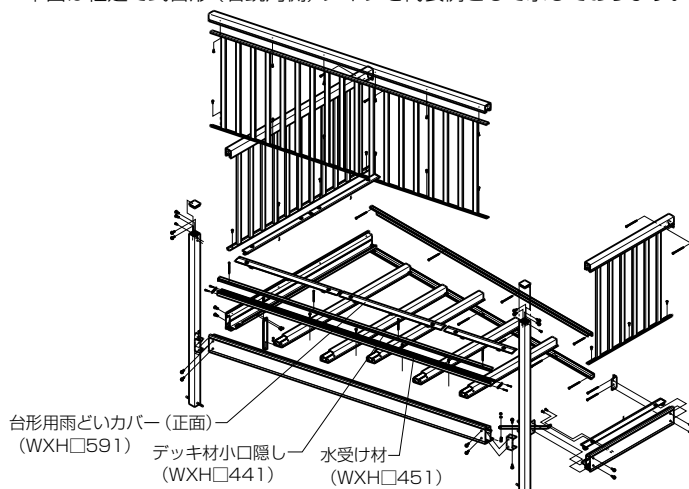
※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

【シーリング処理】

- ・指定の箇所（特に接合部）にシーリングしてください。

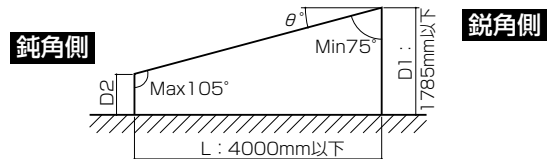
■各部名称図

■形材および主要部品を品名とコード番号で表示してあります。
※本図は柱建て式台形（右鋭角側）タイプを代表例として示しております。



●台形対応範囲

・台形の角度はMin75°～Max105°まで対応可能です。



※正面台形部品セットの選択方法

納まり	コード
2、3、4尺用	WXH□589
5、6尺用	WXH□590

※台形タイプは中間用デッキボードを使用します。スタート用デッキボードは使用しませんので注意してください。

※桁・笠木の使い分けは設計基準の形材サイズ別使い分け表を参照してください。角度がつくことにより形材のℓ寸法が伸びますので増加分を間口寸法として見てください。

例：間口寸法3650のとき笠木（2.5間通し用）・桁Bとなります。

■形材サイズ別使い分け表

※アクトステージ基本タイプは、JISA6601（住宅用金属/パルコニー構成材および手すり構成材）に基づき設計されています。下記表を守って施工してください。

部位	出幅	1.0間				1.5間				2.0間				2.5間
		間口	間口	間口	間口	間口	間口	間口	間口	間口	間口	間口	間口	間口
笠木	2R (585)	1850	2050	1945	2000	2755	3005	2900	3000	3650	3960	3855	4000	4605
	3R (885)													
	4R (1185)					笠木						笠木 (2.5間通し用)		
	5R (1485)					(WXH□051)						(WXH□061)		
	6R (1785)					(WXH□052)								
	9R (2685)													
桁	2R (585)													
	3R (885)													
	4R (1185)					桁A						桁B		
	5R (1485)					(WXH□071)						(WXH□081)		
	6R (1785)					(WXH□072)								
	9R (2685)													
根太	2R (585)													
	3R (885)													
	4R (1185)					根太 (2～4尺用)								
	5R (1485)					(WXH□131)								
	6R (1785)					根太 (5、6尺用) (WXH□141)								
	9R (2685)					根太 (9尺用) (WXH□151)								

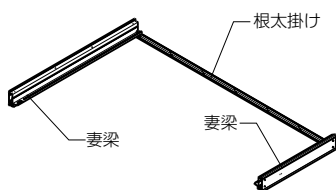
■取付け順序

※●は基本タイプの取付け手順をご覧ください。

●根太掛けの取付け

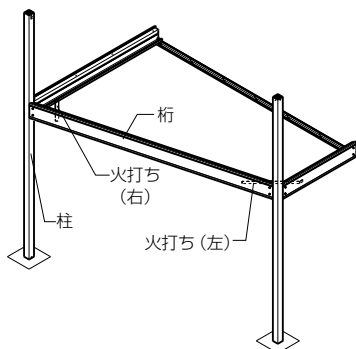
■柱の組立て

●妻梁の取付け



1 柱、桁、火打ちの取付け

●柱の固定



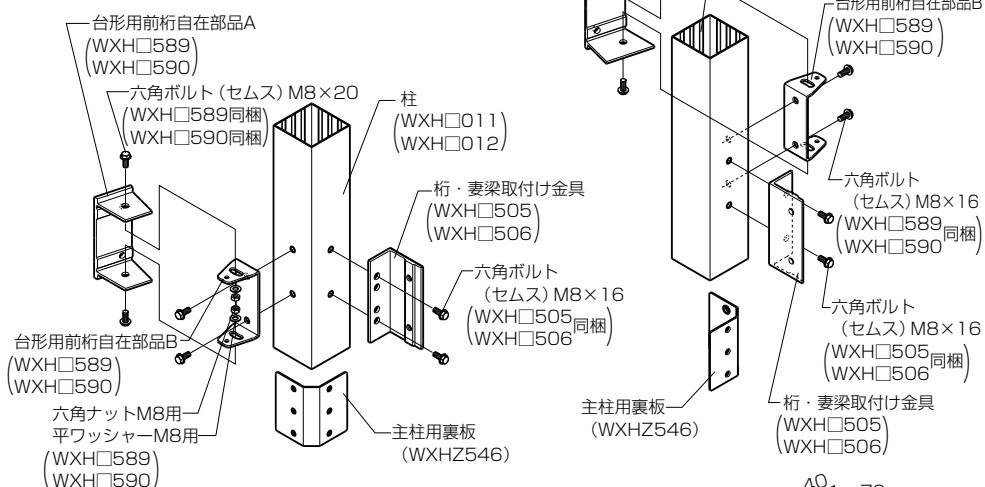
■取付け詳細

■柱の組立て

①柱に主柱用裏板を挿入し、桁・妻梁取付け金具と台形用前桁自在部品Bを取付けます。

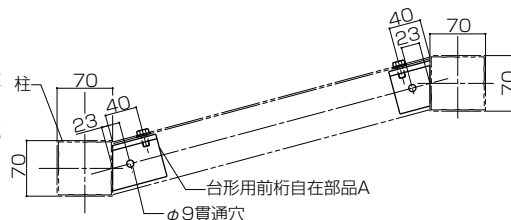
⚠ 警告

●必ず指定のねじ・ボルトで固定してください。



②前桁加工時に角度切断した台形用前桁自在部品AのV溝の柱側から23mmの位置にφ9貫通穴をあけます。

③台形用前桁自在部品Aと台形用前桁自在部品Bを固定します。



1 柱、桁、火打ちの取付け

①妻梁に柱を取付けます。

②桁に根太固定当て板と火打ち固定用のボルトを挿入し柱に桁を取付けます。

③雨どいアタッチメントを妻梁の水抜き用角穴に合わせて取付けます。(A図参照)

※屋根置き式の場合は不要です。

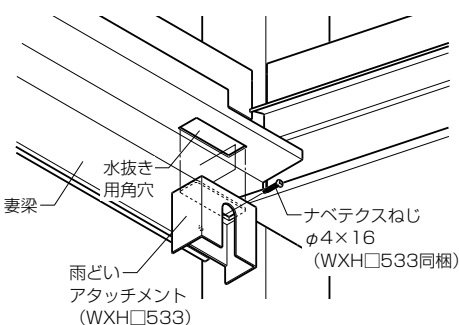
④火打ちを桁と妻梁に合わせ、下穴を妻梁に開けて固定します。

⑤妻梁と桁に押し当てるように出幅連結用妻梁水止めゴムを取付け、周りにコーキング材を充てんします。(B図参照)

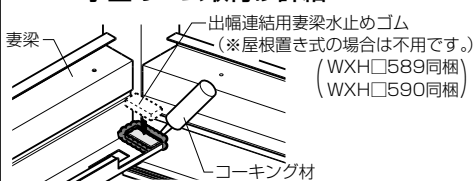
⚠ 警告

●必ず指定のねじ・ボルトで固定してください。

＜A図＞雨どいアタッチメント取付け詳細



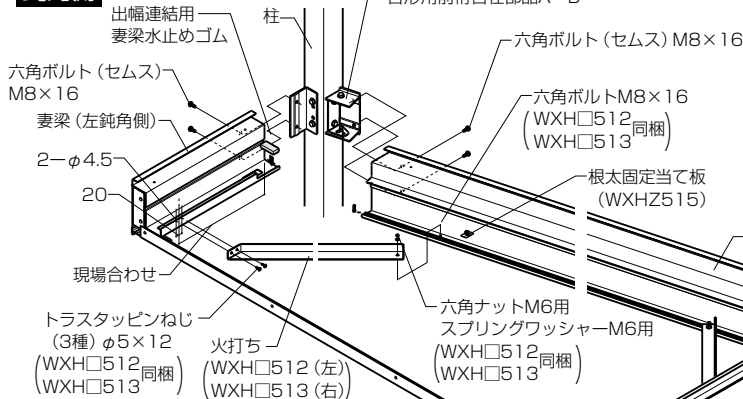
＜B図＞出幅連結用妻梁水止めゴム取付け詳細



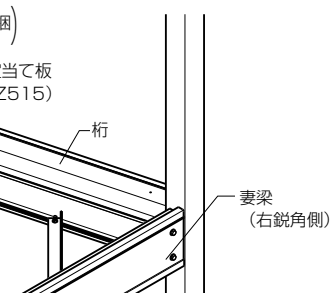
⚠ 注意

●指定の個所にコーキング材を充てんしてください。

鈍角側

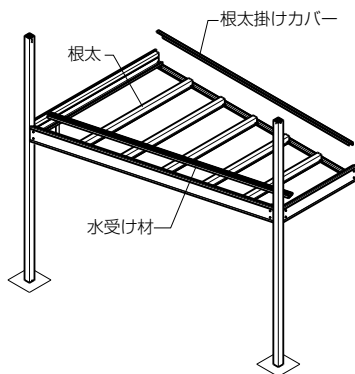


鋭角側



2 根太、水受け材の取付け

●根太掛けカバーの取付け (柱建て式の場合)



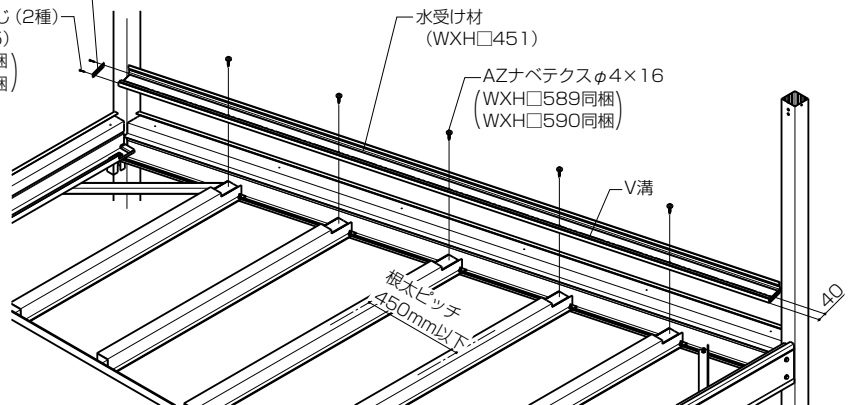
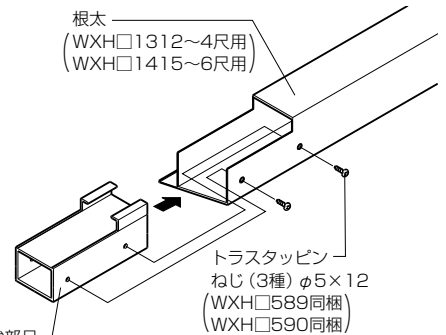
2 根太、水受け材の取付け

- ①根太に根太補強材部品A (B) を取付けます。
- ②根太を桁と根太掛けに根太固定当て板で取付けます。
※根太ピッチは450mm以下で取付けてください。
※根太は一定方向全て同じ向きで取付けてください。
※基本タイプを参照してください。
- ③水受け材に水受け材端部プレートを取付けます。
- ④水受け材を左右の妻梁雨どい部分に均等にのるようにし、桁に押し当てて位置を決めます。水受け材のV溝と根太補強材部品の交差する場所をねじ止めし固定します。

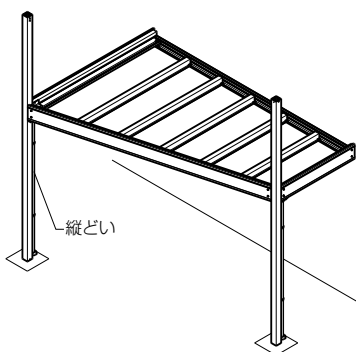
水受け材端部プレート
(WXH□589同梱)
(WXH□590同梱)

ナベタッピンねじ (2種)
φ4×20 (G=5)
(WXH□589同梱)
(WXH□590同梱)

根太補強部品
(A : WXH□589同梱)
(B : WXH□590同梱)



3 雨どいの取付け (柱建て式の場合)



3 雨どいの取付け (柱建て式の場合)

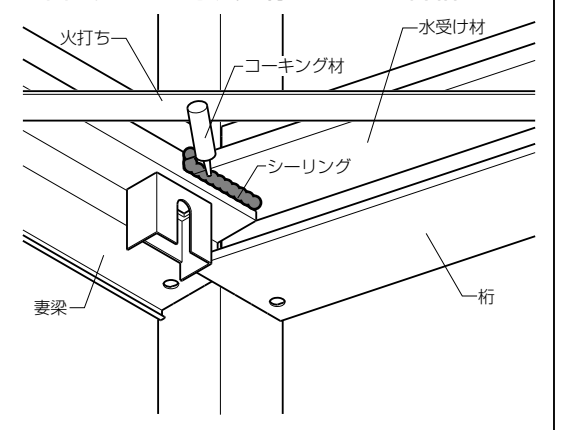
- ①柱と桁、妻梁の接合部にコーキング材を充てんします。
※基本タイプを参照してください。
- ②妻梁と水受け材の接合およびすき間にコーキング材を充てんします。(C図参照)

▲ 注 意

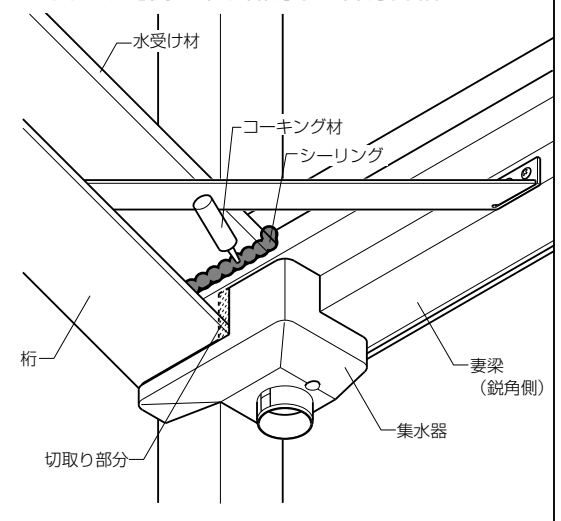
- 指定の個所にコーキング材を充てんしてください。

- ③鋭角側の集水器と桁の干渉部分を現場合わせにて切り取ります。(D図参照)
- ④集水器を取付けます。
※以降の取付けについては基本タイプを参照してください。

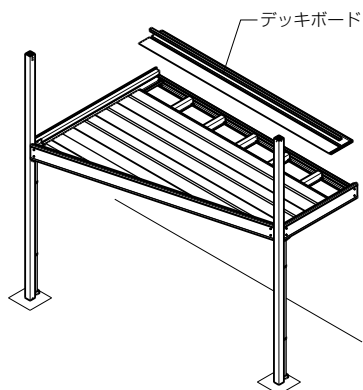
＜C図＞ 妻ばり、水受け材シーリング詳細



＜D図＞ 鋭角側、集水器切り取り部分詳細



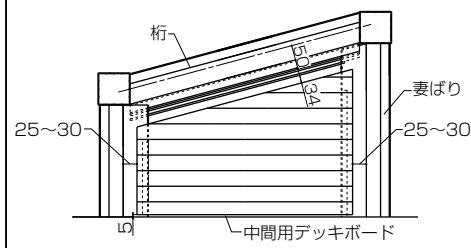
4 デッキボードの取付け



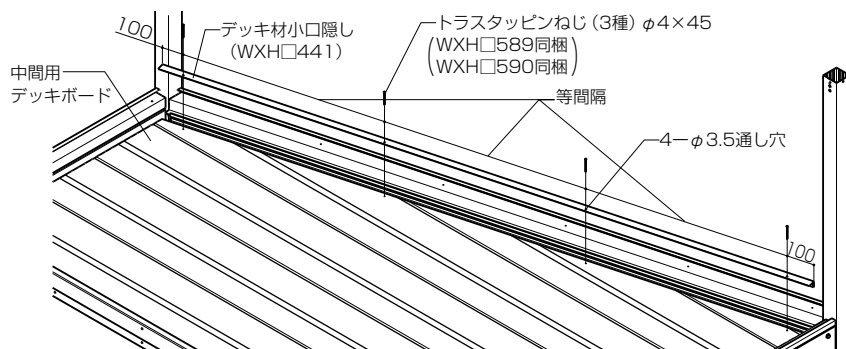
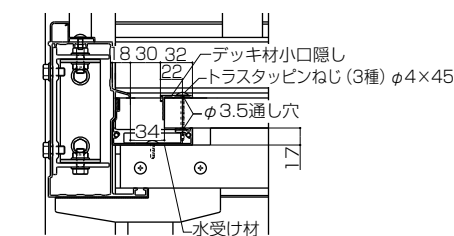
4 デッキボードの取付け

- ①バルコニーに合わせて中間用デッキボードを切断します。
※デッキボードと桁および妻梁とのすき間はE図の寸法を守ってください。
※スタート用デッキボードは使用しません。
- ②基本タイプを参照して中間用デッキボードを取付けてください。
- ③前側の中間用デッキボード切断面にデッキ材小口隠しを左右均等になるように配置し取付けてください。
(F図参照)

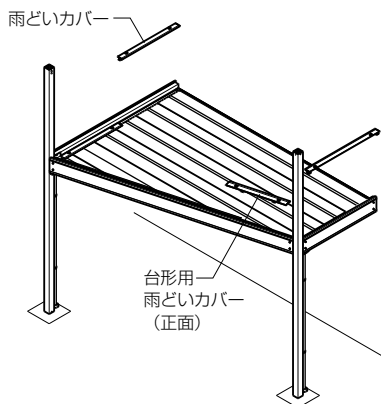
〈E図〉 中間用デッキボード切断寸法図



〈F図〉 デッキ材小口隠し取付け詳細図



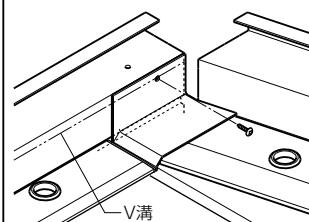
5 雨どいカバーの取付け



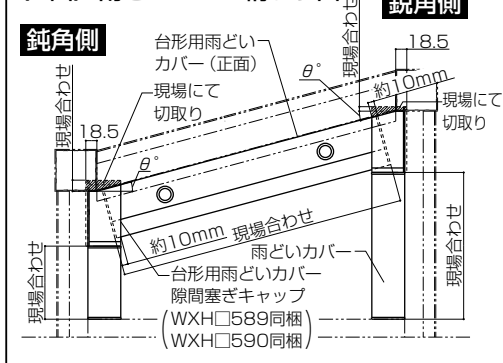
5 雨どいカバーの取付け

- ①G図を参考に台形用雨どいカバー隙間塞ぎキャップと柱、桁の干渉部分を切取ります。
- ②台形用雨どいカバー隙間塞ぎキャップを妻梁に引っ掛けて取付けます。(H図参照)
- ③台形用雨どいカバー (正面) を取付けます。
※台形用雨どいカバー (正面) が台形用雨どいカバー隙間塞ぎキャップに10mm程度のみ込むように現場合わせて切詰めてください。(I図参照)
- ④雨どいカバーを取付けます。
※雨どいカバーは台形用雨どいカバー隙間塞ぎキャップとのすき間が開かないよう現場合わせて切詰めてください。(I図参照)

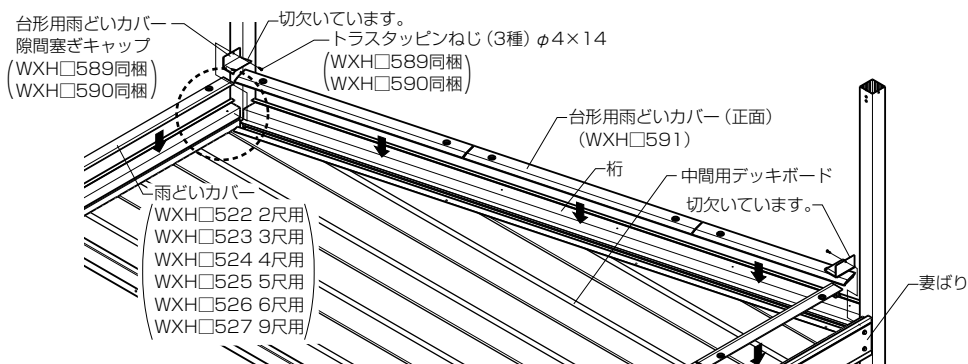
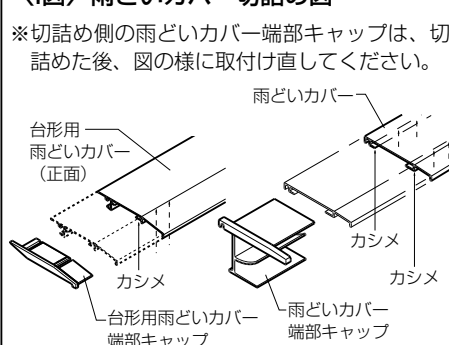
〈H図〉 台形用雨どいカバー隙間塞ぎキャップ取付け図



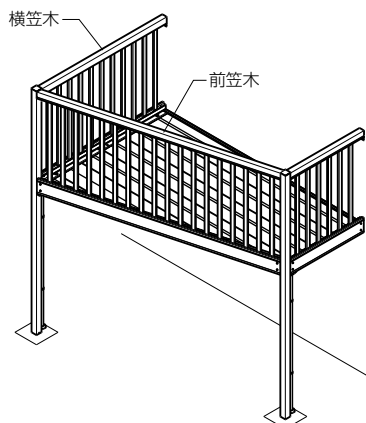
〈G図〉 雨どいカバー納まり図



〈I図〉 雨どいカバー切詰め図

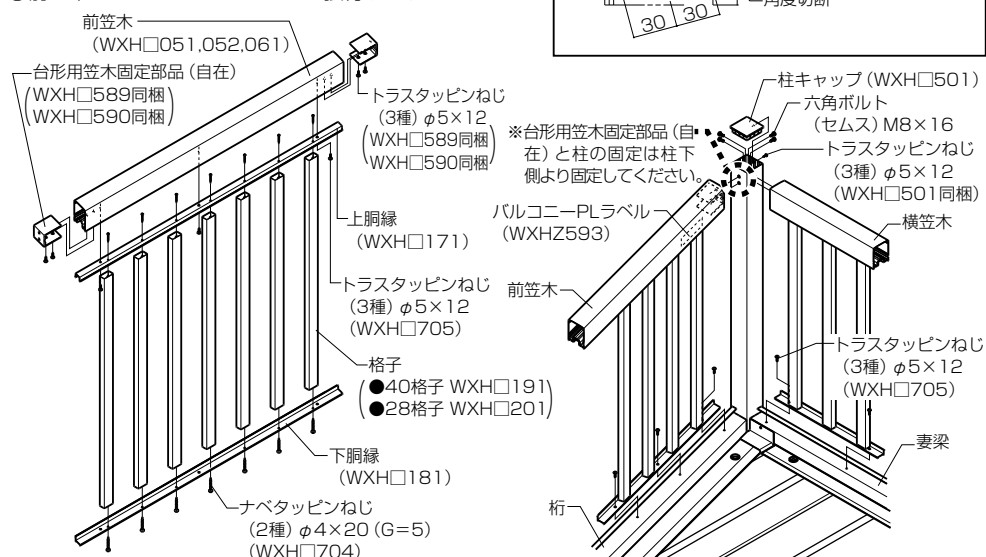


6 笠木・格子パネルの取付け

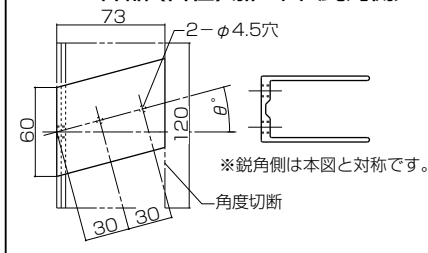


6 笠木・格子パネルの取付け

- ①台形用笠木固定部品 (自在) をJ図にしたがって加工します。
- ②笠木に台形用笠木固定部品 (自在) を取付けます。
- ③格子と上胴縁、下胴縁を組立てます。
- ④笠木に上胴縁を取付けます。
※笠木と下胴縁の向きに注意してください。
※横笠木は基本タイプを参照してください。
- ⑤笠木を柱に取付けます。
- ⑥下胴縁と桁を固定します。
- ⑦前笠木にバルコニーPLラベルを張付けます。

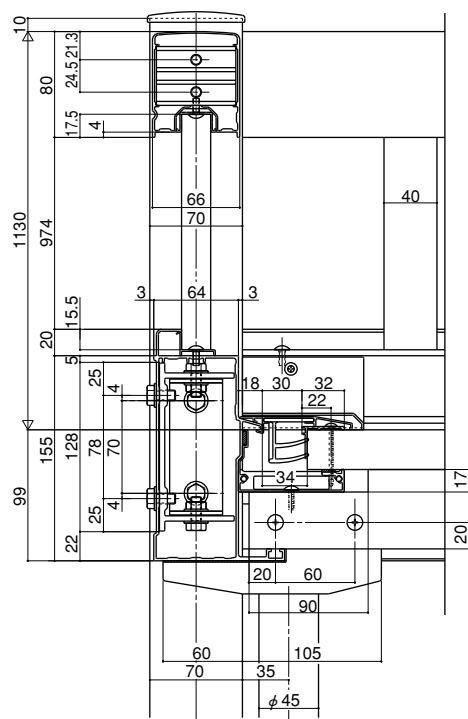


〈J図〉台形用笠木固定 部品 (自在) 加工図 (鈍角側)



■納まり図

■側面断面図



■平面図

